

考試科目	日文 3111F	所別	外交學	考試時間	2月28日(日)第2節
------	-------------	----	-----	------	-------------

日審科中 (每題25分)

1. 日本側の経費負担は、同盟国としての責任分担にはかならない。米軍はアジア重視のリバランス（再均衡）政策に基づき、最新鋭のイージス艦などの日本への重点配備を進めている。日本の抑止力を高めることは歓迎したい。
2. 経済のグローバル化が進み、国際的な投資の重要性が増している。政府は2国間や多国間の投資協定の締結を加速し、日本企業が安心して海外に投資しやすくする環境づくりを急ぐときだ。
3. 北方領土問題に関するロシアの強硬姿勢がより鮮明になった。それでも、日露関係の改善には、政治家間の対話を粘り強く重ねるしかあるまい。平和条約交渉は、ウクライナ情勢に基づく日本の対露制裁や露側の対抗措置に伴い、中断していた。すぐに成果は期待できないが、交渉再開自体は評価したい。
4. 中国による南シナ海の人工島の軍事拠点化も止まらない。王毅外相はケリー米国务長官との会談後の記者会見で、人工島での「防衛施設」の整備は「『軍事化』とは関係がない」と強弁した。国際法に基づく「航行の自由」を揺るがしながら、自国の権益を一段と拡張させようとする。独善的な中国の動きを抑止するには、人工島周辺での米軍艦艇の航行継続に加え、国際社会の緊密な連携が欠かせない。

備

註

- 一、作答於試題上者，不予計分。
- 二、試題請隨卷繳交。